

別表１ 相互応援に向けた東北地方支部長及び県支部長の態勢

１．地震

態勢種別	態勢確保の時期	東北地方支部長及び県支部長の態勢の内容
注意態勢	・各支部内で震度５弱の地震が発生	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
警戒態勢	・各支部内で震度５強の地震が発生	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に対応する準備を進める。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
非常態勢	・各支部内で震度６弱以上の地震が発生 ・各支部内で地震による甚大な水道の被害の発生を把握	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に迅速に対応できる態勢を確保する。

２．その他災害

態勢種別	態勢確保の時期	東北地方支部長及び県支部長の態勢の内容
注意態勢	・各支部内で大雨等※の特別警報が発表 ・地方支部長の要請	・被害発生時に迅速な情報連絡を行える態勢を確保する。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
警戒態勢	・特別警報が発表された大雨等※が各支部内で現に発生 ・地方支部長の要請	・会員事業体における被害状況の把握が可能になったと思われる時点で、情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に対応する準備を進める。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
非常態勢	・各支部内で災害（地震を除く）による甚大な水道の被害の発生を把握	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に迅速に対応できる態勢を確保する。

※大雨等：大雨，暴風，暴風雪，大雪，津波，火山噴火

別表２ 地方支部長被災時の職務代行・補助者

以下の優先順位により、職務代行又は補助の対応が可能な者から候補者を選定する。	
優先順位	職務代行・補助者
第１位	青森県支部長
第２位	秋田県支部長
第３位	岩手県支部長
第４位	福島県支部長
第５位	山形県支部長
第６位	宮城県支部長

別表3 応急給水資機材一覧（例）

分 類	応急給水資機材	備 考
車両	給水車 トラック（給水タンク、その他資材等運搬用） 広報車	・給水車は加圧式が望ましい。上水道用可搬式電動ポンプ等の搭載も有効。 ・車両にはカーナビゲーションシステムの設置が有効。 ・季節により凍結対策（チェーン、スタットレスタイヤ装着等）
保安設備	カラーコーン コーンバー 照明機器 発電機* ₂ コードリール	* ₂ その他の作業用電源と共有
安全装備類	安全帯	
給水機材	布ホース* ₁ 仮設給水栓セット エンジンポンプ 水中ポンプ	* ₁ 応急給水に適したもの
給水容器	仮設水槽 給水タンク（トラック架設用） ポリタンク 給水袋	・ポリタンクは10ℓ以下が望ましい。 ・給水袋は6ℓ以下が望ましい。 ・上記の他、持ち運び考慮した容量とする。
その他	携帯用残留塩素計 拡声器（乾電池） 携帯電話（充電器含む） 懐中電灯（乾電池） 携帯ラジオ（乾電池） パソコン（周辺機器含む）* ₃ 携帯無線 救急箱	* ₃ パソコン周辺機器、電源延長コード類、LAN ケーブル、プリンター（インク含む）、Wifi ルーター等

別表4-1 応急復旧資機材一覧（例）【通水及び漏水調査班：水道事業体】

分 類	資機材名称	備 考
車両等	緊急車（指揮車） ライトバン（連絡用）	季節により凍結対策 （チェーン、スタットレスタイヤ装着時）
保安設備	カラーコーン コーンバー ハロゲンランプ 簡易回転灯 交通誘導灯	
安全装備類	安全帯 酸素濃度測定器	
配水調整用資材	制水弁用開栓器（バルブキー） 蓋カギ スタンドパイプ 布ホース 水質測定器（* ₁ ） 残留塩素測定器 色・濁確認容器 簡易流量計	（* ₁ ） 携帯型p h計 携帯型濁色度計等
工具類外	断水コマ等 工具類一式	トルクレンチ、スパナ、ハンマー、 曲尺等
漏水調査器具	相関式漏水発見装置（* ₂ ） 電子式漏水発見器（* ₂ ） 埋設管探知機（* ₂ ） 音聴棒 距離計 水圧ゲージ	（* ₂ ）複数台所有しており携行が可能な場合
その他	携帯電話 携帯無線 懐中電灯（乾電池） カメラ（電池、フィルム、メモリー） 救急箱 パソコン（周辺機器含む）（* ₃ ） 携帯ラジオ トランシーバー ハンドマイク ロープ 酸欠防止用具 予備燃料及び燃料タンク	* ₃ パソコン周辺機器、電源延長コード類、LAN ケーブル、プリンター（インク含む）、WIFI ルーター等

別表4-2 応急復旧資機材一覧（例）【修繕班：工事事業者】

分 類	資機材名称	備 考
車両等	掘削機械（小型バックホウ） 運搬車（クレーン付） 作業車（工作車） ダンプトラック（残土等運搬） ライトバン	季節により凍結対策 （チェーン、スタットレスタイヤ装着 等）
保安設備	工事看板 バリケード カラーコーン コーンバー ハロゲンランプ 簡易回転灯 交通誘導等 発動発電機（* ₁ ） 予備燃料（燃料タンク）（* ₁ ）	（* ₁ ） 他の機器と共有
配水調整用資材	バルブ、止水栓用開栓器 蓋カギ スタンドパイプ 布ホース 水質測定器（* ₅ ）	（* ₅ ） 携帯型 PH 計 携帯型濁色度計等
修理材料	給・配水補修金具等 付属設備 埋め戻し土（真砂土等） 仮復旧合材（常温材） 断水コマ	
接合工具	ビニル管接合工具一式 ポリエチレン管接合工具一式 鉛管接合工具一式 継手接合器材（* ₂ ）	（* ₂ ）トルクレンチ、スパナ、曲尺等
切管工具	リードカッター エンジンカッター ローリングカッター 電気ドリル 穿孔機 コードリール	電子式漏水発見器 埋設管探知機 音聴棒

分 類	資機材名称	備 考
掘削埋戻し工具	<u>黒板（撮影表示板）</u> <u>つるはし</u> <u>スコップ</u> <u>ハンドブレーカー</u> <u>転圧機（*₃）</u> <u>投光器</u> <u>土留め材料（*₄）</u> <u>土のう袋</u> <u>コンクリートカッター</u> <u>コンプレッサー</u>	<u>距離計</u> <u>水圧ゲージ</u> <u>その他</u> <u>配管図</u> <u>携帯無線</u> <u>トランシーバー</u> <u>ハンドマイク</u> <u>ハンマー</u> <u>酸欠防止用具</u>
排水工具	<u>水中ポンプ</u> <u>布ホース</u>	
漏水調査器具	<u>相関式漏水発見装置（*₆）</u> <u>電子式漏水発見器（*₆）</u> <u>埋設管探知機（*₆）</u> <u>音聴棒</u> <u>距離計</u> <u>水圧ゲージ</u>	<u>（*₆）所有しており携行が可能な場合</u>
その他	<u>携帯電話</u> <u>携帯無線</u> <u>携帯ラジオ</u> <u>トランシーバー</u> <u>ハンドマイク</u> <u>懐中電灯</u> <u>カメラ（電池、フィルム、メモリー）</u> <u>ロープ</u> <u>工具類（ハンマー等一式）</u> <u>各種予備電池</u> <u>救急箱</u> <u>酸欠防止用具</u>	

別表5 装備品一覧

1. 応援水道事業体職員であることを証明するもの

品 名	数 量	摘 要
身分証明書	隊員個々に準備	
名札	隊員個々に準備	
運転免許証	隊員個々に準備	
健康保険証	隊員個々に準備	
腕章（事業体名称入り）	隊員の人員分	

2. 派遣時の服装及び携行するもの

品 名	数 量	摘 要
作業着（上下）+着替え+ベルト	隊員個々に準備	※季節により夏用、冬用を持参 ※貸与を受けていない隊員には庶務担当が手配する。 ※安全上長袖着用
雨具、防寒着、安全ベスト	隊員個々に準備	
安全靴、ゴム長靴	隊員個々に準備	
ヘルメット、帽子	隊員個々に準備	
手袋（軍手、皮手袋）	隊員個々に準備	
スニーカー、上履き等（移動時等）	隊員個々に準備	
下着、靴下（派遣日数分+ α ）	隊員個々に準備	※季節を考慮して持参

3. 生活、衛生面で必要なもの

品 名	数 量	摘 要
発電機（小型）	1台/1隊当り	※宿泊施設が確保できなかった場合又は水道施設内に宿泊する場合に必要なと考えられる物品を参考列記 ※派遣先に持参する物品を選択
発電機燃料用携行缶	1個/1隊当り	
投光器	2基/1隊当り	
ドラムコード（50m）	2個/1隊当り	
寝具類（寝袋、毛布、枕等）	隊員数分	
テント（隊員宿泊用）		※テント（2～3人/1張（感染症対策を要する場合は1人/1張）を目安）
簡易シャワー		※受援事業体に確認し要・不要を判断
洗面具（タオル、歯ブラシ等）	隊員個々に準備	※替えや予備を持参すると便利
携帯・簡易トイレ	100個/1隊当たり	1人1日5回×5名×4日を目安
懐中電灯（電池式、充電式）	3本×1隊	
乾電池（単一、単三等）	6本/1隊×日数	※応援隊の入れ替え時に補給

4. 調理・給食関係で必要なもの

品 名	数 量	摘 要
携帯用ガスコンロ	2個/1隊当り	
ガスボンベ（詰め替え用）	6本/1隊当り	
調理器具類（鍋、やかん等）	2個/1隊当り	
食器類A（茶碗類）	×隊員数	
食器類B（使い捨て容器等）	隊員数×日数×3	
割り箸、使い捨てスプーン等	隊員数×日数×3	
包丁	1本×1隊	
まな板	1枚×1隊	
缶切り		
電気ポット	1個×1隊	

5. 食料等

品 名	数 量	摘 要
飲料水（ペットボトル1.5ℓ）	隊員数×2本×日数	※受援事業体等に確認し、現地の店、コンビニ等の営業状況を確認後、持参物を決定 ※住民に支障のない範囲で現地調達 ※カップ麺、レトルト、缶詰類等の痛まない食品類は次隊に引継ぎ
カップ麺	隊員数×3個×日数	
レトルト食品（白飯、惣菜等）	隊員数×3個×日数	
缶詰類（飯類、惣菜副食類等）	隊員数×3個×日数	
その他食料品	必要に応じて	

6. 救急医療薬品等

品 名	数 量	摘 要
救急箱一式	数種類×必要数	風邪、胃腸薬、外傷薬、目薬
包帯	必要数	
マスク	必要数	粉じん対策、感染症予防
栄養剤（ビタミン剤）	必要数	
フェイスシールド	隊員数	感染症予防
消毒アルコール、除菌スプレー	必要数	感染症予防
使い捨てカイロ		
虫よけスプレー	5本/1隊当り	

7. 車両関係

品 名	数 量	摘 要
タイヤチェーン等	車両台数分	冬期派遣時
E T Cカード	車両台数分	
派遣車両のスペアキー	必要数	受援事業体に預ける（駐車場所の移動に使用）
災害派遣等従事車両証明書	車両台数分	
緊急車両標章（事業体名称入り） （横断幕、マグネット、旗等）	派遣車両数分	輸送用車両、給水隊用、復旧隊用

8. 通信機器・情報機器類

品 名	数 量	摘 要
ノートPC		
携帯電話・スマートフォン		
衛星電話		
デジタルカメラ		記録用
プリンタ		インクカートリッジ含む
携帯ラジオ		
カードリーダー（SDカード等）		PCの仕様
電源延長コード		
OAタップ		

9. その他

品 名	数 量	摘 要
派遣先の地図		
方位磁石		衛星電話の受信方角確認
充電器		カメラ、携帯、電池用
ティッシュペーパー		
文房具一式		ペン、マーカー、付箋、はさみ、ホチキス等

別表6 応急給水隊の編成

編成	○応急給水隊の基本単位を応急給水班とする。 ○応急給水班1班（給水車1台）あたり、2～3名の給水要員による体制を標準とする。 ○トラック等による運搬給水の場合、必要に応じて運転手1名を増員する。 ○3班以上の応急給水班からなる応急給水隊を編成する場合には、被災会員と調整のうえ、指揮監督するための総括責任者を含めて派遣することが望ましい。
派遣期間	○応援活動の継続性、職員の健康等を考慮して、1班あたりの派遣期間は、概ね実働1週間とする。

別表7 応急復旧隊の編成

編成	○応急復旧隊の基本単位を応急復旧班とする。 ○応急復旧班は、総括班、漏水調査班、修理班により構成されることを標準とする。 【総括班】 総括責任者 1名 連絡員 1名 記録者 1名 ・総括責任者は被災会員の責任者と連絡調整し、各班の指揮監督を行う。 ・連絡員は、漏水調査班、修理班との連絡調整を行う。 ・記録者は、作業内容等の応援活動を記録するとともに、連絡員を補助する。 【漏水調査班】1班あたり 漏水調査班（1班）の編成は、以下を標準とするが、被害状況や応援の規模に応じて適宜増員する必要がある。 責任者 1名 作業員 3名 【修理班】1班あたり 修理班（1班）の編成は、配水管と給水管の両方を修理できる編成とし、以下を標準とするが、被害状況や応援の規模に応じて適宜増員する必要がある。 責任者 1名 作業員 5名（施工業者） ・作業員は世話役、配管工、運転手、特殊作業員、普通作業員で構成する。 ・3班以上の応援隊を派遣する場合は、被災事業体の責任者と連絡調整し、指揮監督するための、総括責任者を含め派遣する。
派遣期間	○応援活動の継続性、職員の健康等を考慮し、1班あたりの派遣期間は、概ね実働1週間とする。

別表8 費用負担の区分

費 用	被災会員が負担すべき費用	応援会員が負担すべき費用
人件費等	<u>超過勤務手当</u> <u>深夜勤務手当</u> <u>特殊勤務手当</u> <u>管理職員特別勤務手当</u> <u>旅費（日当含む）</u>	<u>給料</u> <u>地域手当等基本的な手当</u>
材料費	<u>継ぎ手、直管、異形管、</u> <u>弁栓類、弁きょう、鉄蓋類</u> <u>給水袋等 等</u>	
請負工事代金	<u>工事請負費（材料費、労務費、</u> <u>機械器具損料、滞在費、諸経費等）</u>	
委託費	<u>委託費（漏水調査業務等）</u>	
車両、機材等の費用	<u>燃料費（ガソリン、軽油）</u> <u>修理費</u> <u>賃借料</u> <u>輸送料（機材等の輸送に係る有料道路</u> <u>料金、フェリー料金等）</u> <u>寒冷地等に必要な装備等（スタットレ</u> <u>スタイヤ等の賃借料）</u>	<u>損料</u>
滞在費用	<u>食料費（弁当、現地での食事等）</u> <u>宿泊費（仮設ハウス設置費用、ホテル等</u> <u>宿泊費）</u>	<u>携行する食料費</u> <u>携行する寝袋、テント等</u> <u>被服（防寒服・割当のない職員分・クリーニ</u> <u>ング代）</u> <u>生活用品、その他福利厚生費</u>
その他事務費等	<u>写真代「工事確認用」</u> <u>作業用消耗品</u> <u>通信費（電話料金、FAX、インターネット等）</u> <u>トランシーバー</u> <u>消火器</u> <u>地図</u> <u>コピー代</u>	<u>写真代「記録・報告・広報用」</u> <u>その他事務用品</u>
補償関係費用	<u>応援職員の傷病に対する応急的な処置</u> <u>に係る費用</u> <u>第三者に対する損害賠償金</u> <u>「応援作業中の事故等」</u>	<u>応援職員の災害補償費</u> <u>「出張中の公務災害」</u> <u>第三者に対する損害賠償金</u> <u>「往復途上の事故等」</u>